

令和8年度第1回京田辺市立老人福祉センター運営協議会

日 時 令和8年7月22日（水） 9時30分～10時30分

場 所 老人福祉センター常磐苑 大広間

出席者 柳田会長、小西副会長、河田・横山・香村・田中・渋谷・玉井・寺村
飯田（健康福祉部長） 各委員

欠席 なし

傍聴者 なし

事務局 北川健康福祉部副部長、上村高齢者支援課長
岩本高齢者支援課指導主幹（常磐苑所長）、鈴木高齢者支援課再任用主査

内容（※開会前に、委嘱状の交付式を実施）

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）老人福祉センターの利用状況等について

令和7年度利用状況（常磐苑、宝生苑）

令和8年度利用状況（常磐苑）

〈質疑〉

委員：常磐苑では令和7年度4月から6月までと、令和8年度の4月から6月までの利用者が増加しているが、要因は。

事務局：令和8年4月から新しく来所されている方がいるためである。

委員：その方たちはバスを利用されているのか。また、どの施設が増えているのか。

事務局：バスで利用されている方は若干いる。浴室と娛樂室の利用が多くなっている。

委員：宝生苑のグラウンドゴルフ場の利用者数は、一般の利用者のみのカウントになっているのか。

事務局：サークルと一般の方と合算した数字になっている。

委員：常磐苑の施設は一般の方は利用できないのか。

事務局：登録サークルの利用日を除いた日で利用をしていただいている。利用日の一週間前から申請が出来る。

委員：常磐苑は、老人福祉センターであるので、市内在住で60歳以上であれば、無料で利用できると思う。

(2) 老人福祉センター路線バス利用助成の状況について

令和7年度利用状況（常磐苑、宝生苑）

令和8年度利用状況（常磐苑）

〈質疑〉

委員：北部地域から常磐苑に行かれる際に、直通バスがないので、来所者がそんなに増えていないと感じるが。分析は。

事務局：北部地域から新田辺までは、バスで来て、そこからＪＲ、近鉄、もしくは車に乗せてもらって来られる。大住地域から直接ＪＲで来られる方もいると聞いている。

委員：ＪＲの運賃は、助成対象外である。今のところ、バス運賃しか助成対象ではないが、助成の拡大は考えているのか。

事務局：現時点では考えていない。需要が高くなって、検討していかなければいけない時期が来るかもしれない。

委員：今後、大住ふれあいセンターが完成すれば、バスの運賃補助は考えているのか。

事務局：たなモビ事業が継続されるのか、未定なので、それを踏まえ、補助が可能なかどうか、検討していく必要がある。

委員：65歳以上の方には、補助されるよう要望しておく。

委員：大住ふれあいセンターのことなので、大住ふれあいセンターにおいて、考えてもらいたい。

(3) その他（北川副部長）

- ・大住ふれあいセンターについて（令和8年2月の運営協議会～7月22日までの報告）

〈質疑〉

委員：大住ふれあいセンターでカラオケルームを設置する予定と聞いていたが、設置の予定はあるのか。

事務局：最終的には、指定管理者が決めることになるが、防音室という名称で、カラオケ以外に、楽器演奏も出来る部屋を想定している。

委員：部屋などの使用料は有料になるのか。

事務局：先の12月議会で条例制定をし、整理をしているが、部屋を独占する場合（例えば、団体が総会で使用する場合など）は、使用料が発生するが、原則、無料と考えている。

委員：この間、老人福祉センターが2つから1つになった。また、大住ふれあいセンターのパブコメの意見でも風呂の廃止の件が多くあった。

事務局：お風呂廃止のコメントも確かに多かったが、健康増進を期待するコメ

ントも多くあったと考えている。

委員：令和9年4月からリニューアルオープンする大住ふれあいセンターの協議体を以前からつくって欲しいとお願いしていたが、進捗状況は。

事務局：利用者や運営側の考えを出し合う場を設定したいと思っている。10月以降の実施を予定しているが、具体的なことは決まっていない。

委員：以前から申し上げているので、もっと早く進めてもらいたい。

委員：早くそういう組織を立ち上げていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

4 閉会あいさつ（副会長）